

家族のための健康教室③
身近な病気Q&A



実際の新聞記事

—人工関節の使用対象者となるのは。

変形性膝関節症や変形性股関節症に対してよく行われます。変形した骨をチタン合金で、磨耗した軟骨を高分子ポリエチレンで置換します。医療材料や技術の進歩は目覚しく、人工関節の寿命は大幅に延びています。

—適応年齢は。

股関節に関しては40～50歳代で手術を受けられる場合が増えていています。早期に社会復帰でき、治療効果も十分に高いため、人工関節が治療の主な選択肢として考えられる時代になっています。

—リハビリは。

手術翌日には車椅子に乗れ、立つことも可能になります。数日中に歩行訓練を開始し、2～3週間で歩いて退院できます。退院後はスポーツやレクリエーションも楽しめます。手術後のリハビリはつらいと思われがちですが、そうではありません。関節の痛みが取れるため、歩行距離が増えていく喜びをかみしめながらリハビリに取り組みことができます。

—手術の目的は。

人工関節手術の大きな目的は健康寿命を延ばすことにあります。痛みを放置しても、すぐに寝たきりになったり、生命の危機に陥ることはありませんが、徐々に腰椎などに悪影響を及ぼします。また、心肺機能の低下や筋萎縮なども引き起こします。手術を受けることで、介護を必要としない体を作ることができます。

—受診する時期は。

人生の中でも大切な時期に、関節の痛みにより、スポーツを避け、旅行をやめ、仕事を制限することが望ましいのでしょうか。いつまでも健康で過ごすためには適切な時期に正しい診断を受けることが重要です。まずは整形外科を受診してみてください。